

プレスリリース

2022年7月21日  
国境なき医師団 (MSF)

## 南スーダン：世界で初めて E 型肝炎の流行を抑制する集団予防接種を実施

7月28日の世界肝炎デーを前に、国境なき医師団 (MSF) は世界で初めて E 型肝炎の流行に対する大規模な集団予防接種を南スーダンで実施したことを発表。妊婦の命を危険にさらしかねない病気の対策に希望が見えてきた。MSF は、今回の集団予防接種の成果を見た他国でも、E 型肝炎流行抑制に向けたワクチン使用につながっていくことを期待している。

### 死につながる感染症

E 型肝炎は、急性ウイルス性肝炎の最も一般的な原因であり、年間約 2000 万人の感染者と 4 万 4000 人の死者 (※) を出している。糞便で汚染された食品や水から感染する。大規模な集団感染は、大型の避難民キャンプなど、給水設備や衛生設備が不十分な場合に起きることが多い。E 型肝炎には特效薬がなく、妊婦の致死率は最大 25% で、自然流産や死産のリスクも押し上げている。

MSF と南スーダン保健省は共同で、南スーダン・ユニティ州のベンティウ国内避難民キャンプで、世界初の E 型肝炎集団予防接種を実施。2022 年 3 月に初回接種を、4 月には 2 回目の接種を実施し、妊婦を含む約 2 万 5000 人がワクチンの接種を受けた。2022 年 10 月には 3 回目の接種を予定している。

MSF 医療ディレクターのモニカ・ルル医師は「E 型肝炎との闘いは長く、挫折の連続でした。この 20 年間、MSF は避難民キャンプでの E 型肝炎の流行に対応し、厳しい状況で病気の抑制に努めると共に、危機に瀕した人びとへの壊滅的な影響を目の当たりにしてきました。今回の集団予防接種の経験を活かし、今後の E 型肝炎対策を変えていきたい」と話す。

南スーダン保健省の予防医療局長であるジョン・ルムヌ医師は、「流行対策に重要な最初の 2 回接種が成功し、地域住民の反応も好意的でした。この革新的な集団予防接種は、先行例として、E 型肝炎の流行対策にあたる他の地域でも実現可能と思われます。このワクチンが、ベンティウにとどまらず他の地域でも、E 型肝炎の感染や死者数減少に役立つことを期待しています」と話す。

### 住環境が引き起こす感染拡大

ベンティウは、南スーダン最大の避難民キャンプで、戦争中の 2014 年に作られた。現在では、近年

の暴力や洪水から逃れた約 11 万 2000 人が暮らしている。MSF は設立当初からベントウで活動し、2015 年から E 型肝炎の流行を目の当たりにしてきた。この感染症は、飲用・生活に適した水や排水設備へのアクセス不足、衛生状態を確保できないなど、ひどい生活環境の結果である。

2021 年には激しい洪水と新たな避難民の到着により、既に悲惨な生活環境がより悪化。E 型肝炎を含む水系感染症がさらに広がった。2021 年 7 月以降、MSF のベントウ病院では、E 型肝炎が確認された 759 人の患者を診察し、そのうち 17 人が死亡した。

### ワクチン接種へ託す希望

南スーダン保健省は、大規模な集団予防接種を通じて、流行を抑制する対策に協力するよう MSF に要請。唯一利用可能な E 型肝炎ワクチン「ヘコリン」は、中国で開発・認可されたもので、臨床試験で高い予防効果が確認されており、世界保健機関（WHO）は 2015 年から流行対応での使用検討を推奨している。これまで中国では個人単位でしか使用されておらず、旅行者へのワクチンとして認可・使用されてきた。今回のベントウでの集団予防接種は、公衆衛生上の緊急事態に対応するために使用される初めてのケースとなった。

集団予防接種について説明した文書は、7 月 21 日、英医学誌『The Lancet Infectious Diseases』に掲載された。その報告動画はこちらからオンラインで視聴できる。

<https://youtu.be/bmdjTlnEHm8>

WHO のメラニー・マルティ医療オフィサー・予防接種・ワクチン・生物学担当官は、「これは世界の E 型肝炎対策における画期的な出来事です。このワクチンは 10 年以上前に認可され、2015 年からは流行期の使用が WHO の方針となっているにもかかわらず、この致命的な病気に対抗するために使用されたのは初めてのことです。WHO では、E 型肝炎が流行している全ての国に対し、妊婦を含め、ワクチンの使用を強く推奨しています」と話す。

ベントウの集団予防接種の成功は、困難な状況下でも流行対応にワクチンは使用可能だということを示している。南スーダン保健省と MSF は、集団予防接種の結果をモニタリングし、報告している。給水や衛生設備の整備など、他の流行抑制策も必要とされる一方で、保健当局者は、今回の集団予防接種が、今後の E 型肝炎による負荷軽減に向けた重要な一歩になると考えている。


※世界保健機関 2022 年 6 月

以上

#### 本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、山田瑞穂  
携帯：080-2344-0684

E-mail: [press@tokyo.msf.org](mailto:press@tokyo.msf.org) <https://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ\_Press